

平成29年度	後期長期研修	校種・領域	中学校第1学年 外国語
めざす 児童生徒像	英語で仲間と伝え合うことに興味、関心、意欲をもち、自分の考えが相手に伝わるよう正しい文構造で書くことができる生徒		
テーマ	英語で書く力を高める指導の工夫		
サブテーマ	ゲーム性を取り入れた協働学習を通して(第1学年)		
概要	これまでの書く活動では、生徒が表現したい内容を英語の正しい文構造で書くことに課題があった。また学び合いで気づきを生む協働学習が不十分であった。そこで本研究では、書く力をつける手立てとしてゲーム性を取り入れた「ヒントクイズ」を作成し発表する活動を取り入れた。作成過程でブレインマップを用いたイメージの視覚化やピア・コレクション(生徒同士の訂正活動)、訂正コードを用いた添削指導を通して、誤りやその修正方法に気づき、書く力の向上と楽しさが実感できるよう協働学習に取り組んだ。こうした手立てにより、英作文の質と量が向上したことから、本研究の目標である「人物表現や疑問文を英語の正しい文構造で書く力」を高めることができたと捉える。		
キーワード	書く活動、正しい文構造、訂正コード、協働学習、ブレインマップ、ピア・コレクション、ゲーム性、ヒントクイズ		
イメージ図			
成果	□ ピア・コレクションや訂正コードを用いた学習により、生徒が正しい文構造で書く力が高まった。 □ ブレインマップを使い表現したいことを整理したことで、思考や各活動へ取り組むスピードが速くなり、その時間を協働学習や発表に充てることができた。 □ ゲーム性を取り入れることで、生徒にとって難易度の高い書く活動への意欲向上が図られた。 □ 協働学習の授業実践で、生徒主体のピア・コレクションやクイズによる言語活動や英語の4技能の充実が図られた。		